

記入例－中間処理業者用－

複数の施設がある場合は、施設毎に「通し番号」を付ける。

提出年度を記

令和 **8** 年度 産業廃棄物処理実績報告書（特別管理産業廃棄物を除く）

計 **7** 枚中の **1** 枚目

廃棄物処理業の許可番号を記入

鹿児島県知事 殿

処理施設の概要	通し番号 1
施設の種別	木くず・紙くずの焼却施設
施設の所在地	〇〇市〇〇1-1
処理方法コード	201
許可品目	木くず・紙くず
処理能力	4トン/日

処理方法のコード番号は、コード表③を使用。

FAX及びメールをお持ちの事業者のみ記入

FAX番	099*-*-***
メールアドレス	aaa@marumaru.co.jp

報告日	令和 8年 5月 20日
許可番号	046400000
住所	鹿児島県〇〇市〇〇2丁目〇〇
法人名	株式会社 〇〇環境社
代表者氏名	代表取締役 〇〇-〇〇
電話番号	099*-*-***

座版等で可。ただし法人名及び代表者等にはフリガナを付ける。なお、押印は不要。

必ずトン単位で記入。量の少ないものについても、少数点以下の値で記入。また、桁区切りのカンマ「,」と少数点の「.」は、はっきり区別して記入する。

種類のコード番号は、コード表①を使用。業種のコード番号は、コード表②を使用。

業者のコード番号は、コード表④を使用。コード表に無い場合は、その業者の許可番号の下6

※処理後、残さがある場合は、残さの種類、委託量、処分先等を記入し、残さがない場合は「残さ物なし」欄に「〇」を記入してください。

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合
種類	委託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	種類	委託量(トン)	収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法	管理型
木くず	2.5	株式会社〇〇建設	〇〇市	株式会社〇〇運送	〇〇市	燃えがら	0.25	株式会社〇〇運輸	〇〇県	株式会社〇〇社	〇〇県	〇〇	なし
コード表①	1080↑	コード表②	090	コード表④	345678	コード表①	0102	コード表④	345678	コード表④	987654	302	あり
※残さ物なし													

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合
種類	委託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	種類	委託量(トン)	収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法	管理型
木くず	1.2	株式会社〇〇工業	〇〇町	排出事業者運搬									
コード表①	1080↑	コード表②	110	コード表④		コード表④		コード表④		コード表④			なし
※残さ物なし													

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合
種類	委託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	種類	委託量(トン)	収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法	管理型
紙くず	0.35	株式会社〇〇印刷	〇〇市	株式会社〇〇運送	〇〇市								
コード表①	1070↑	コード表②	190	コード表④	333333	コード表①		コード表④		コード表④			なし
※残さ物なし													

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合	収集運搬業者	処分業者	※残さありの場合
種類	委託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	種類	委託量(トン)	収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法	管理型
木くず	2.5	株式会社〇〇興業	〇〇県	株式会社〇〇運輸	〇〇県								
コード表①	1080↑	コード表②	090	コード表④	345678	コード表①		コード表④		コード表④			なし
※残さ物なし													

廃棄物の発生場所を記入する。県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。（※排出事業者の所在地ではなく廃棄物の発生場所です。）

県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。

残さがある場合(中間処理後も残り、その後埋立等により処理される産業廃棄物がある場合。中間処理後有効利用した場合は除く。)のみ記入。有効利用した場合は、種類毎処理状況に記入。

県外から県内への持ち込み、県内から県外への持ち出しの「あり・なし」を必ず記入

記入例—最終処分業者用—

廃棄物処理業の許可番号を記入

提出年度を記入

計 7 枚中の 1 枚目

令和 (8) 年度 産業廃棄物処理実績報告書

—最終処分業者用—

鹿児島県知事 殿

報告日	令和 8年 5月 20日
許可番号	046477777
住 所	鹿児島県〇〇市大字〇〇1-23
フリガナ	マルマルカクゴ
法人名	(株)〇〇環境センター
フリガナ	マルマル マルマル
代表者氏名	代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号	099*-*-*

FAX及びメールをお持ちの事業者のみ記入

FAX番号	099*-*-*-*
メールアドレス	bbb@marumaru.co.jp

令和7年度分産業廃棄物の処理実績について、次のとおり報告

施設の所在地を記入

必ずトン単位で記入。量の少ないものについても、少数点以下の値で記入。また、桁区切りのカンマ「,」と少数点の「.」は、はっきり区別して記入する。

版等で可。ただし法人名及び代表者等にはフリガナを付ける。なお、押印は不要。

県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。

処 分 場 の 概 要	
名 称	(株)〇〇環境センター〇〇処分場
所 在 地	〇〇都〇〇町大字〇〇
施 設 の 種 類	安定型最終処分場
処理方法コード	301
面 積 m ²	10,000
容 積 m ³	30,000
許 可 品 目	安定5品目
設 置 年 月 日	平成7年3月1日
残 余 容 量	令和8年3月末の残余容量 5,000 m ³

産 業 廃 棄 物		排 出 元		取 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
がれき類	400	(株)〇〇産業社	〇〇市	(株)〇〇建設	〇〇市	なし	なし
コード表①	1504	コード表②	090	コード表④	345678		

産 業 廃 棄 物		排 出 元		取 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
廃プラスチック類	0.5	(株)〇〇電機	〇〇町	(株)〇〇物流	〇〇市	なし	なし
コード表①	0699	コード表②	300	コード表④	222222		

産 業 廃 棄 物		排 出 元		取 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
がれき類	100	(有)〇〇工建	〇〇市			なし	なし
コード表①	1501	コード表②	090	コード表④			

産 業 廃 棄 物		排 出 元		取 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
金属くず	1	(株)〇〇電設	〇〇県	(株)〇〇運輸	〇〇県	あり	あり
種類コード	1299	業種コード	110	業者コード	987654		

令和8年3月末現在の残余容量を必ず記入

処理方法のコード番号は、コード表④を使用。
種類のコード番号は、コード表①を使用。
業種のコード番号は、コード表②を使用。

廃棄物の発生場所を記入。
県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。(※排出業者の所在地ではなく廃棄物の発生場所です。)

業者のコード番号は、コード表④を使用。
コード表に無い場合は、その業者の許可番号の下6桁を記入。判らないときは空欄のまま可。

県外から県内への持ち込みの「あり・なし」を必ず記入